

令和3年7月19日

JAにいがた南蒲

独立行政法人 国際協力機構（JICA）が発行する社会貢献債

「ソーシャルボンド」への投資について

JAにいがた南蒲（代表理事理事長 高山 栄、以下「当JA」という）は、この度、独立行政法人国際協力機構（以下JICA）が発行するソーシャルボンド「JICA債」に投資いたしました。

JICAは、開発途上地域の経済及び社会の開発若しくは復興又は経済の安定に寄与することを通じて、国際協力の促進並びに我が国及び国際経済社会の健全な発展に資することを目的としています。

ソーシャルボンドとは、社会貢献債とも呼ばれ、開発途上国支援や地球温暖化対策など、世界的な社会問題の解決にあてる目的で資金を調達する債券をいいます。

JICAは政府開発援助（ODA）の一元的実施機関として、開発途上国の社会経済発展のため、有償資金協力・無償資金協力・技術協力の主要3事業をはじめとする各種事業を実施しており、JICA債の調達資金は有償資金協力業務に充当されます。

また、2016年12月22日に日本政府が策定・公表した「持続可能な開発目標（SDGs）実施方針」において、JICA債の発行がSDGsを達成するための具体的施策の一項目として掲げられています。

当JAは、「食と農を基軸として地域に根ざした協同組合」として、組合員の皆様の声に応えながら、持続可能な地域農業・地域社会づくりに向けて「不断の自己改革」に取り組んできました。JICA債への投資によって、地域社会を構成する一員として、持続可能な開発目標（SDGs）の達成に貢献するとともに、組織・事業・経営の革新を図り、社会的役割を誠実に果たして参ります。

債券の概要

銘柄名： 第60回国際協力機構債券

年限： 20年

格付： R&I AA+

購入額： 1億円